

芸術館ミニ展示 設営レポートー サポートーズとともに展示をつくるー

10月21日、芸術館のミニ展示設営作業を行いました。通信6名、通学2名が参加し、通信通学の在學生と卒業生と一緒に展示をつくる、世代と学びを越えた貴重な機会となりました。

展示テーマは郷土人形と学園収蔵品

通学部生が授業で考案した郷土人形展示プランと学園収蔵品で、レイアウトの相談、キャプションの有無やデザインについても議論を重ね、現場で意見を出し合いながら、一つの展示空間を形にしていきました。展示作業は通信教育部生、キャプション作成は通学部生が担当、あーでもない、こーでもないと笑いながらも真剣に展示に向き合う姿に、まさに「協働の現場」を見る思いがしました。作業を終えた参加者からは、「実習Ⅱのような濃密な体験だった」「通信と通学を越えて学び合えたのが嬉しかった」といった声が聞かれました。展示の完成を前にしたときの皆さんの満ち足りた表情が、とても印象的でした。参加くださったサポートーズの皆さん、そして通学部生の皆さん、本当にありがとうございました。サポートーズの活動は、これからも“ともに学び、ともにつくる”場として続けたいと思います。



「ミュージアムサポートーズ」は、通信教育部airUコミュニティをきっかけに結成されたサークル活動です。芸術館や康耀堂美術館を活動の場として、ミュージアムの諸活動を支える取り組みを展開しています。学芸員資格取得を目指す方、実習後も実践的に学び続けたい在學生と卒業生が参加。展示設営、作品調査、教育普及プログラムのサポートなど、多様な活動を通して、“学びの継続”と“仲間との協働”を実現する場です。

芸術館Instagramでは、展覧会やイベントの情報、作品の紹介、活動報告などを発信中！ぜひ「フォロー」や「いいね！」をしてみてくださいね。